講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語文学概説 / 英米文学概説〕

◆授業概要　イギリスにおいて近代小説の祖とされる Samuel Richardson から Horace Walpole, Ann Radcliffe らゴシック小説の作家を経て Jane Austen などイギリス小説を代表する作家，現代的な問題をはらんだ作品を書いた Mary Shelley にいたるまでを概観する。18 世紀，19 世紀前半の代表的な作家の生涯や作品の概要や作品のハイライトを抜粋して読み，小説の黄金期であるヴィクトリア時代を迎えるまでの小説の発展の過程を辿る。

◆学修到達目標　イギリス小説の黎明期から近代小説の成立，ゴシック小説を経て写実主義や歴史小説などに発展していった過程について知り，説明できるようになる事を目的とする。代表的作家の生涯と作品について知識を身につけ，説明できるようになる事を目的とする。作品の内容について考察し，コメントを書くことで簡単な文学の批評ができるようになる事を目的とする。

◆授業方法　テキストとプリント，映像を用いて 18 世紀，19 世紀前半の代表的な作家の生涯と作品の概要を紹介する。代表作の原文のハイライトを抜粋して読む。重要な作品は映像で作品を鑑賞する。作品についてコメントを書いてもらって提出してもらうこともある。原文を読むのに必要なので英語の辞書は必ず持参するようにすること。

◆履修条件　●2018 年度昼間スクーリング（前期）の「英語文学概説 / 英米文学概説」の単位取得者は受講不可
●前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	ガイダンス，オリエンテーション，授業の進め方，講義内容に記載されている成績評価方法などの確認，イギリス文学のどの作品に興味があるのか。
	事前学修	自分が興味のあるイギリス文学を考えてくる。
	事後学修	前期に学ぶ予定のイギリス文学はどのような作品なのか調べる。
2 回	授業内容	近代小説が誕生するまでのイギリス文学を概観する。
	事前学修	18 世紀以前のイギリス文学にはどのような作家がいるのか調べる。
	事後学修	近代小説が生まれる以前のイギリス文学について調べる。
3 回	授業内容	近代小説（1）イギリスの近代小説について解説。Samuel Richardson の *Pamela* について解説。テキストと英文を読む。
	事前学修	テキストの 56, 57 頁を読み，Richardson, *Pamela* について調べておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，*Pamela* の原文を読んでみる。
4 回	授業内容	近代小説（2）Henry Fielding の *Shamela, The History of Tom Jones, a Foundling* について解説。テキストと英文を読む。
	事前学修	テキストの 58, 59 頁を読み，Henry Fielding の *The History of Tom Jones, a Foundling* について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，*Shamela* と *The History of Tom Jones, a Foundling* の原文を読んでみる。
5 回	授業内容	近代小説（3）Laurence Sterne の *The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman* について解説。テキストと英文を読む。
	事前学修	テキストの 60, 61 頁を読み，Laurence Sterne の *The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman* について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Laurence Sterne の *The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman* の原文を読んでみる。
6 回	授業内容	ゴシック小説（1）ゴシック小説とは何かをピクチャレスクの問題と絡めて解説。Horace Walpole の *The Castle of Otranto* について解説。テキストと英文を読む。
	事前学修	テキストの 62, 63 頁を読み，Horace Walpole の *The Castle of Otranto* について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Horace Walpole の *The Castle of Otranto* の原文を読んでみる。
7 回	授業内容	ゴシック小説（2）大流行したゴシック小説 Ann Radcliffe の *The Mysteries of Udolpho, The Italian* について解説。英文を読む。
	事前学修	ゴシック小説と Anne Ladcliffe について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Ann Radcliffe の *The Mysteries of Udolpho, The Italian* の原文を読んでみる。
8 回	授業内容	ゴシック小説（3）その他の様々なゴシック小説を概観する。William Beckford の *Vathek* と Matthew Gregory Lewis の *The Monk* と Charles Robert Maturin の *Melmoth, The Wanderer* について解説。
	事前学修	テキストの 64, 65, 70, 71, 88, 89 頁を読み，William Beckford の *Vathek* と Matthew Gregory Lewis の *The Monk* と Charles Robert Maturin の *Melmoth, The Wanderer* について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，ゴシック小説にはどのようなものがあるのかまとめる。
9 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（1）歴史小説（Sir Walter Scott）と写実主義の小説（Jane Austen）の解説。Austen の *Northanger Abbey* を映像で鑑賞する。
	事前学修	テキストの 84, 85 頁を読み，Walter Scott と Jane Austen について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，ゴシック小説がどのように発展していったかをまとめる。
10 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（2）Jane Austen の生涯と作品を概観する。
	事前学修	Jane Austen の作品の内容や特徴を調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Jane Austen の生涯や作品の内容などをまとめる。
11 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（3）Jane Austen の *Pride and Prejudice* の英文を読む。
	事前学修	テキストの 78, 79 頁を読み，Austen の *Pride and Prejudice* について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Austen の *Pride and Prejudice* の原文を読んでみる。
12 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（4）Jane Austen の *Pride and Prejudice* の映像を鑑賞する。
	事前学修	Austen の *Pride and Prejudice* の原文を読む。
	事後学修	Austen の *Pride and Prejudice* の原文と映像の相違について考える。
13 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（5）現代的なテーマを孕むゴシック小説 Mary Shelley の *Frankenstein* の解説と英文を読む。
	事前学修	テキストの 82, 83 頁を読み，Mary Shelley の *Frankenstein* について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Mary Shelley の *Frankenstein* の原文を読む。
14 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（6）と前期の総まとめ Mary Shelley の *Frankenstein* から生まれた映像を紹介する。前期に学んだことの総復習。試験について。
	事前学修	これまで学んだことを復習しておく。
	事後学修	Mary Shelley の *Frankenstein* と現代のつながりを考える。前期の総復習をする。
15 回	授業内容	試験とその解説を行う。
	事前学修	前期に学んだこと，読んだ英文を復習する。
	事後学修	試験でできなかったところを確認し，できなかった部分を復習する。

◆教科書　丸沼『たのしく読めるイギリス文学』　ミネルヴァ書房　3,024 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書　丸沼『英語文学事典』　ミネルヴァ書房　4,860 円（税込）（送料 500 円）
『*The Oxford Literary Terms*（Oxford Quick Reference）』
〈上記の本は，丸沼書店では取り扱っていませんので，Amazon 等で購入してください。〉
※参考文献は自習用であり，授業では使用しません。

◆成績評価基準　コメントシート（30%），試験（70%）
授業には毎回出席することを前提として評価を行います。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

SAMPLE